

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

小児科医のための摂食障害診療ガイドライン - 小児心身医学会ガイドライン集 改訂第2版-

日本小児心身医学会 摂食障害ワーキング (委員長: 井口敏之 星ヶ丘マタニティ病院小児科)
南江堂、2015年7月10日 改訂第2版発行

■1 半夏厚朴湯、抑肝散

疾患:

小児の摂食障害

有効性に関する記載ないしその要約:

薬物療法の向精神薬の処方例の表中に、下記の記載がある。

『漢方薬: 嚥下困難やイライラ感を訴える場合に、半夏厚朴湯や抑肝散を用いる場合がある。』

■2 六君子湯、大建中湯

疾患:

小児の摂食障害

有効性に関する記載ないしその要約:

薬物療法の身体症状に対する処方例の表中に、下記の記載がある。

『六君子湯: 7.5g 分3 胃炎、胃痛などに対して

大建中湯: 7.5g 分3 腹部膨満、弛緩性便秘に対して』